



八高線の第二大師踏切から西方向  
(昭和51年1月) (杉田幸夫さん提供)

八高線の第二大師踏切から西方向を写した写真です。昭和51年1月当時は、道路の脇に桑畑なども残っていましたが、現在は、畑は残っているものの、それにも増して住宅が多く立ち並び、当時と違った雰囲気になっています。

**募集中**  
昭和50年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線332までご連絡ください。

現在の風景



## 徒然歳時記

### うなぎ



千年以上も前から、夏バテには鰻と言われていたようで、「石麻呂に吾物申す夏瘦せによしと云ふ物ぞうなぎ取り召せ」という歌が万葉集にあります。この歌は<sup>おおもとのやか</sup>大伴家持が詠んだといわれています。

夏の土用の丑の日にうなぎを食べる習慣が出来たのは、幕末の学者平賀源内が、夏場にウナギが売れないので困っていると近所のうなぎ屋に相談されて、今日うなぎを食べると良いという意味で「本日土用丑の日」という看板を店先に出し、大繁盛したとか、土用の丑の日に「う」のつくものを食べると長生きするとの伝承があったからなどの諸説があります。

また、鰻の調理法に関して、商人文化の栄えた関西では、腹を割って話をするという意味から腹開きの調理法が好まれ、武士文化の栄えた江戸では、腹開きは切腹を想像させ縁起が悪いと考えられ、背開きの調理法が好まれたと言われています。

鰻には、ビタミンA、B1、Eなどのほか、身体に不可欠なミネラル分、カルシウム、亜鉛、鉄、とくに青魚に多く含まれ中性脂肪やコレステロールを下げるDHAやEPA、コラーゲンも含まれていて、まさにビタミン、ミネラルたっぷりの理想的な食品です。

これから暑さが厳しくなり、夏バテしやすい季節がやってきます。みなさんも鰻を食べて暑く厳しい夏を乗り切ってください。

**編集後記** 今月は、ハイキングの特集ということで、実際にハイキングコースを歩いてみました。体力には自身があったため軽く考えていたら、スタートしてすぐの上り坂で早くも息があがってしまいました。まだまだ若いつもりでしたが…。あらためて自分自身を見直すきっかけになりました。(1)

## わがやのアイドル



福田 芽生ちゃん  
(3歳10か月)  
将生くん  
(10か月)

芽生ちゃんは、お歌とダンスが得意です。将生くんは、テーブル

に手をかけて立てるようになりました。

ふたりともグングン大きくなってきて笑顔が素敵です！



荻野 太我くん  
(1歳6か月)

甘えん坊でおんぶが大好きな太我。すぐ「おんぶ」と抱きついてきます。人見知りもせず誰にでもバイバイをして愛嬌ふりまくり。まさしく「わがやのアイドル」です。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。  
申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線332

広報もろやま 7月20日号 No 827 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地  
■発行 毛呂山町 ■1部当り 31.9円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771  
■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 36,988人(-5人)  
【男 18,455人(-2人) 女 18,533人(-3人)】  
世帯 14,988戸(+15戸)  
※平成21年7月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。